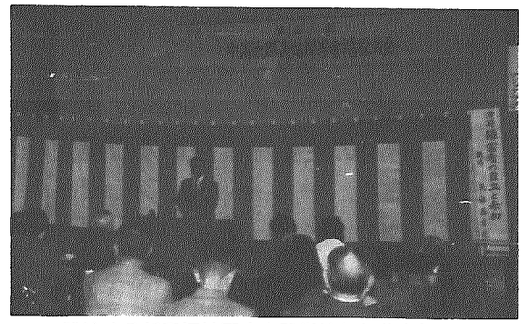
障害者の自立と参加を確認
中蒲原郡身障者福祉大会


講演する新潟福祉医療専門学校矢部藤吉教授

十月二十四日㈰、横越村農村環境改善センター（沢海）で中蒲原郡身体障害者福祉大会が開催され、村長や村議会議長などの来賓を含めて七十名余参集しました。

大会は、村身体障害者福祉協議会の佐藤会長の開会宣言で始まり、郡身体障害者福祉協議会酒井会長や村長をはじめ来賓の挨拶の後、新潟福祉医療専門学校矢部藤吉教授の「障害者の自立と参加」という演題で講演が行われました。

内容は、障害者は病人ではない。

生きるということは基本的人権がある。

社会参加するには次の三つの要素が含まれている。

。頭（知識）。心。体

自分だけで生きているのではなく社会にかかわって生きている。

その中で自分ができることは何か。自分ができることをすることも一つの社会参加である。

ところで、障害者がハンディを乗りこえるためには次の四つのハードルがある。

㈠身辺処理の自立ができるか。

㈡経済的自立ができるか。

㈢社会的自立ができるか。

㈣精神的自立ができるか。

これらのものを克服する条件として次のことがあげられる。

㋐自分で何ができるか。

㋑家族・肉親が愛情をそそいでやれるか。

㋒地域の理解があるか。

あなたも人間、私も人間という人間どうしの協調ができるか。

このように、いろいろな問題点もあるが、施設や施策などの制度的なものは改善されつつある。

障害者も自立と社会参加ということで人の力をたよるだけでなく自分の力でも切りひらいていってもらいたい。

また、健常者は、障害者の気持ちを理解して、障害者が生きていて良かったと言われる福祉をみんなで追求してもらいたいというような講演内容でした。

その後、マジックショーなどを観覧しながら一日ゆっくりと親睦と交流を深めあいました。

ライオンズクラブが 社会福祉に五万二千円 寄付

亀田・荻川・横越地区のライオンズクラブがチャリティゴルフ大会を開催し、このたび、横越ライオンズクラブ（会長　佐藤忠昭さん）より社会福祉に役立てて下さいとその益金五万二千円の寄付がありました。

ご厚志に感謝します。

ライオンズクラブが 「のぎくの家」に物品寄贈

このたび、横越ライオンズクラブの佐藤忠昭会長外三名が「のぎくの家」を訪れ、空缶回収箱三個と会員を中心に空ビン回収を行った代金一万二千七百八十円を小野塚テイ子施設長に手渡し、大変感謝されました。

横小が 赤い羽根募金を村募金会へ

十月一日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりましたが、横越小学校でも企画委員会が中心に取り組み、このたび、その代表三名が役場村長室を訪ずれ、村募金会に善意の募金二万六千三百十円を手渡し、大変感謝されました。

伊藤文吉さん(66)が 国際交流功労表彰受賞

十一月六日㈯にNEXT21新潟市民プラザで財団法人新潟県国際交流協会設立三周年記念国際交流フェアが開催されました。

その席上、北方文化博物館長の伊藤文吉さん(66)は、新潟県日米協会副会長やフレンドシップフォースの会長なども歴任し、永年国際交流に貢献されたことに対して同協会から国際交流功労表彰を受賞されました。

建設工事入札結果　（落札金額 500万円以上）

1．工　事　名	村道3号線舗装打替工事	特環下水道沢海枝管渠布設工事	特環下水道沢海舗装復旧工事	特環下水道沢海復旧その2工事
2．工事場所	沢　海　地　内	沢　海　地　内	沢　海　地　内	沢　海　地　内
3．入札年月日	5．10．22	5．10．22	5．10．22	5．10．22
4．入札業者	7　業　者	9　業　者	7　業　者	7　業　者
5．落札額	2，250万円	1，130万円	780万円	730万円
6．落札者	㈱加賀田組	佐　藤　組	日本舗道㈱	日本舗道㈱
7．工　期	5．10．22～5．12．20	5．10．22～6．3．20	5．10．22～6．3．20	5．10．22～6．3．20

芸術の秋を満喫
国際交流も深めた中央公民館文化祭

今年の菊のできぐあいを審査

十一月三日、四日の二日間、村中央公民館主催による文化祭が開催され、大勢の人で賑わいました。

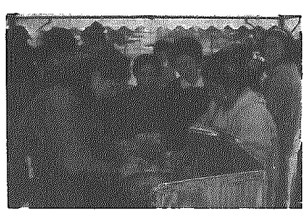
書道、表装、絵画、水墨画・写真などの力作ぞろいの作品展や陶芸教室・籐ずる教室の皆さんの作品展示とチャリティバザー。駒込遺跡の出土品展示。

草木染や婦人大学、高齢者大学生などの作品も展示されました。

また、今年初めての企画でインターナショナル フードフェスティバル・インよこごしが開催されました。

ドイツ風のポテトサラダ、内モンゴルの本格水餃子、アメリカのホームメイドスープ、メキシカン料理などアメリカ、ドイツ、中国人の方と子供から大人まで一諸に和気あいあいの中で外国料理に挑戦していました。

作った料理は、文化祭行事に訪ずれた方にも振る舞われ、外国料理を通じて国際交流を深めていました。


盛況だったフードフェスティバル

◎作品賞

▽村長賞　阿部　定雄（三幹立　厚物）▽議長賞　新田見　光雄（数立　厚物）▽教育長賞　市村　文雄（ダルマ　厚物）▽教育委員長賞　坂井　幸雄（競技花管物）▽公民館長賞　新田見　光雄（三幹立　管物）▽農業委員会長賞　遠藤ミヨイ（小菊）▽農協組合長賞　五十嵐　正義（福助厚物）▽商工会長賞　坂井幸雄（競技花　厚物）▽文化協会長賞　田中　喜男次（ダルマ　管物）▽社会教育委員長賞　永井　直次（福助　管物）▽公民館運営審議委員長賞　桜井　実（一幹花壇）

村史編さんだより ③
民間信仰

横越島は阿賀野川、信濃川、小阿賀野川に囲まれた島であったにもかかわらず日照り続きで水不足をきたし田畑の旱損を考え雨乞い祈禱が頻繁に行われました。

雨乞祈願は、一村だけで村の鎮守の宮で祈願することは稀で少くとも近隣村落五、六ケ村、多い時は四十二ケ村共同で祈願することも珍しくありませんでした。

古文書によると、日照りが続くと組頭（本来は名主であるが横越村には大庄屋を置いたので名主は存在しなかった）相談の上連名で近隣村落へ廻状を出し賛同を得ました。

ご祈禱の場所は、村内では若一王子宮、宗賢寺、妙泰寺、近くは下和田村の諏訪水神、河渡の大仏殿、伊夜日子神社遠くは羽州大山善宝寺、信州戸隠山がありました。

次の書状は、善宝寺へ雨乞祈禱の惣代が、行く前日、指の腫ものが治らず相談した文書です。

明早朝、羽州大山善宝寺へ雨乞御祈禱惣代、当村勝右衛門、参詣いたし候ニ付、拙者参詣致可旨、仰聞かされ承知致候、実ハ少々指之腫ものも今以テ治し申さず道中ニ向ケ不安堵ニ付、右体ならバ各様方之内、御苦労乍ら御参詣下され候様仕度、頼上奉候、併乍ら各様方ニテ御一同ともに差し支御座候ハバ、農方肝要之時節ニ付、歩行差し支これ無病体ニ御座候間、押テ参詣仕ベキ哉否、御報仰聞かされ下され度、頼上奉候以上

五月廿一日

「一部現代用語に書いてあります」

村史編さんの問い合わせは、村中央公民館内、村史編さん室（電話三八五―四四三一）まで。

小中学校も文化祭

十月三十一日㈭、横越小学校・中学校で文化祭行事が催されました。

小学校では、一年生から六年生まで丹精をこめて作りあげた作品を展示し、悪天候でしたが、一日中、作品鑑賞で賑わいました。

また、中学校では、作品展示のほか、一年生から三年生まで合唱コンクールが催されました。

このコンクールに向けて各クラス毎に練習し、当日は、美しいハーモニーを響かせていました。

この他、生徒劇などでも盛り上がっていました。

中学校合唱コンクール

小学校作品展示